

審査委員特別賞

自分流「ルービックキューブの公式」

京都府 洛南高等学校附属小学校 3年 矢野 忠久

講 評

ルービックキューブの解法の手数や時間がキューブの個数にだいたい比例することを突き止めています。専門家でもその解法の手数を与える公式を正確に書き下すことは難しく、その値がおよそ何次関数で表されるか（オーダー）を考えます。自分がするとうなるという実験結果に基づく粗い議論ですが、専門家が行うオーダーの評価と同じ着想に至っている点は高く評価できます。

中央審査委員会